

## 募集人員

※奨学生選抜の募集人員を含む

リベラルアーツ学群	グローバル・コミュニケーション学群	ビジネスマネジメント学群 フライト・オペレーションコース除く	健康福祉学群	芸術文化学群
263人	57人	120人	92人	171人

## 出願条件

選抜方式		出願条件	
第1回・第2回	一般	<p>専願</p> <p>併願</p> <p>大学入学資格を有する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、又は2019年3月31日までに卒業見込みの者。</li> <li>● 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの)一覧)の課程を修了した者</li> <li>● 指定された専修学校の高等課程(文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧)を修了した者</li> <li>● 国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア等外国の大学入学資格の保有者</li> <li>● 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設(国際的な評価団体認定外国人学校一覧)の12年の課程を修了した者 等</li> </ul> <p>※CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者についても入学資格が認められます。 ※詳しい出願資格については、専用の「学生募集要項」で確認してください。</p>	
	特別	帰国生徒	<p>併願</p> <p>大学入学資格を有する者で、以下の出願条件に該当する者。</p> <p>日本国籍を有する者、あるいは日本の「永住者」「定住者」の在留資格取得後に在外教育施設を除く外国の学校(日本の初等中等教育にあたる学校:日本における小学校～高校までの12年間の課程)において、1年度以上の学校教育を受けた者。</p> <p>なお、中国引揚者については、専用の「学生募集要項」で確認してください。</p>
		キリスト教学校教育同盟	<p>併願</p> <p>キリスト教学校教育同盟加盟高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者。 [加盟校は<a href="http://www.k-doumei.or.jp/">http://www.k-doumei.or.jp/</a> で確認してください]</p>
		スポーツ	<p>専願</p> <p>希望者は高等学校の先生を通じて本学の該当クラブへ連絡してください。 [<a href="http://www.obirin.ac.jp/sports/section/index.html">http://www.obirin.ac.jp/sports/section/index.html</a>]</p>
		同窓生徒	<p>専願</p> <p>本人及び3親等以内に桜美林学園在学者又は卒園・卒業・修了者がいる者。</p>
		キリスト者	<p>専願</p> <p>受洗者で、所属する教会の牧師又は司祭から推薦が得られる者。</p>
地区会場	<p>併願</p> <p>上記一般と同様</p>		
グローバル人材育成奨学生選抜	<p>専願</p> <p>所定の英語資格を有する者。詳しくは、P.03を確認してください。</p>		

# 選抜方法

## 審査の過程における 合否判定の方針

書類の審査および面接等を通して、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に審査します。なお、出身高等学校等の調査書については、全体のみならず個々の教科の評定平均値の他、特別活動の状況、特技や部活動、ボランティア活動等を学群別アドミッションポリシーと照らしあわせて、多面的に審査します。

日程	第1回 一般 第1回 特別 グローバル人材育成奨学生	地区会場	第2回 一般 第2回 特別
出願登録 (インターネット出願)	8/22(水)～8/31(金) 最終日は正午(12時)まで	8/22(水)～8/31(金) 最終日は正午(12時)まで	10/26(金)～11/5(月) 最終日は正午(12時)まで
検定料支払	8/31(金)	8/31(金)	11/5(月)
	出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は検定料の支払い後から印刷が可能となります。出願登録後、お早めに検定料をお支払いください。		
出願書類提出期限	8/31(金)消印有効	8/31(金)消印有効	11/5(月)消印有効
一次デジタル 受験票発行開始日	9/7(金) 15時から順次発行	9/7(金) 15時から順次発行	11/13(火) 15時から順次発行
一次 合格発表日	10/5(金)	10/5(金)	11/30(金)

**主な出願書類** ※このほかにも出願書類があります。詳しくは専用の「学生募集要項」を確認してください。

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 入学志願者調査<br/>・最近読んだ本 ・最も興味深く読んだ本 等</li> <li>② 自己申告書<br/>・1,200～1,600字程度</li> <li>③ 活動報告書<br/>・高等学校入学以降の活動内容(資料があれば添付)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>④ 志願者評価書</li> <li>⑤ 高等学校の調査書等<br/>高等学校在籍中に留学した者→留学先の成績証明書(コピー可)を添付<br/>高等学校卒業程度認定試験合格者→合格成績証明書を添付<br/>外国の高等学校卒業(見込み)の者→卒業(見込み)証明書・成績証明書を添付<br/>(日本語、英語以外は日本語訳を添付)<br/>※芸文学群はこのほかにも書類があります。P.04を確認してください。</li> </ul> |
|--|--|

日程	第1回 一般 第1回 特別 グローバル人材育成奨学生	地区会場	第2回 一般 第2回 特別
二次デジタル 受験票発行開始日	10/10(水) 15時から順次発行	10/24(水) 15時から順次発行	12/4(火) 15時から順次発行
試験日	LA GC 10/13(土) BM 健福 芸文 10/14(日)	札幌、名古屋、福岡:10/27(土) 那覇:10/28(日)	12/8(土)
二次 合格発表日	10/19(金)	11/2(金)	12/14(金)
入学手続 締切日	一次(入学金):10/25(木) 二次(入学金以外の春学期納入金):11/9(金)	11/9(金)一括納入	1/9(水)一括納入

### 審査内容

- LA学群、BM学群、健福学群の面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。時間は15分です。面接では志望動機を中心に、自己申告書や活動報告書等の内容について質問をします。また、課題図書(下記参照)の内容についても質問をします。
- 芸文学群の審査方法はP.04を確認してください。
- GC学群の面接方法はP.05を確認してください。

### 課題図書

学群	課題図書
リベラルアーツ学群	『メディア不信—何が問われているのか』林香里(岩波新書)
グローバル・コミュニケーション学群	①『質問する、問い返す』名古屋隆彦(岩波ジュニア新書) ● 左記2冊から1冊選択のこと ②『Animal Farm』George Orwell(Penguin UK) ●
ビジネスマネジメント学群	①『第4次産業革命! 日本経済をこう変える。』竹中平蔵(PHPビジネス文庫) ● 左記2冊から1冊選択のこと ②『それ、なんで流行ってるの? 隠れたニュースを見つけるインサイト思考』原田曜平(ディスカヴァー・携書) ●
健康福祉学群	『人権読本』鎌田慧(編著)(岩波ジュニア新書)

### 地区会場

- 地区会場の面接は、Web面接となる場合があります。詳しくは専用の「学生募集要項」を確認してください。

## 1 グローバル人材育成奨学生選抜

グローバルな社会において貢献できる人材を育成することを目的とした奨学金制度です。制度を利用し、入学後、本学が指定する語学プログラムや2年次秋からの1学年間留学へ参加し、卒業時にTOEIC® L&R 800点以上の取得を目指します。

(減免や給付となる資格は毎学期に継続可否の審査があります。)



## AO入学者選抜 専願

### [募集人員]

※選抜はAO入学者選抜と一般入学者選抜において実施し、全学群で30人を採用予定。

リベラルアーツ学群	グローバル・コミュニケーション学群	ビジネスマネジメント学群 フライ・オペレーションコース除く	健康福祉学群	芸術文化学群
5人程度	5人程度	5人程度	若干名	

### [出願条件]

大学入学資格を有する者で、以下①、②の条件を満たす者。

- 入学後、以下のプログラムに必ず参加する意志がある者。  
※プログラム参加は、本奨学金制度における授業料減免や渡航支援費給付条件の1つとなります。
  - 1年次春学期～2年次の春学期：大学指定の語学プログラム
  - 2年次秋学期～1学年間：大学が認める留学プログラム
- 以下のいずれかの英語の資格およびスコアを有する者。
  - 実用英語技能検定2級
  - TOEFL iBT® 40点
  - TOEIC® L&R 550点
  - GTEC (3技能版) 815点
  - GTEC CBT 1000点
  - IELTS™ 4
  - TEAP 226点

### [主な出願書類]

- 入学志願者調書  
・最近読んだ本 ・最も興味深く読んだ本 等
  - 自己申告書  
・1,200～1,600字程度
  - 活動報告書  
・高等学校入学以降の活動内容(資料があれば添付)
  - 志願者評価書
  - 高等学校の調査書等
- ※このほかにも出願書類があります。詳しくは専用の「学生募集要項」を確認してください。

### [審査内容]

- 日本語および英語による面接(15～20分)  
志望動機を中心に、自己申告書や活動報告書等の内容について質問をします。また、課題図書を読んでいる学群は、課題図書(P.02参照)の内容についても質問をします。芸術学群の実技等の審査方法はP.04を確認してください。
- 英語筆記審査(20分)  
当日出題されるテーマについて200単語程度のショートエッセイを作成。

### [合格について]

合格には「奨学生として合格」「奨学生の対象でない合格」の2種類があります。後者の場合、入学手続きを行うか否かは任意です。

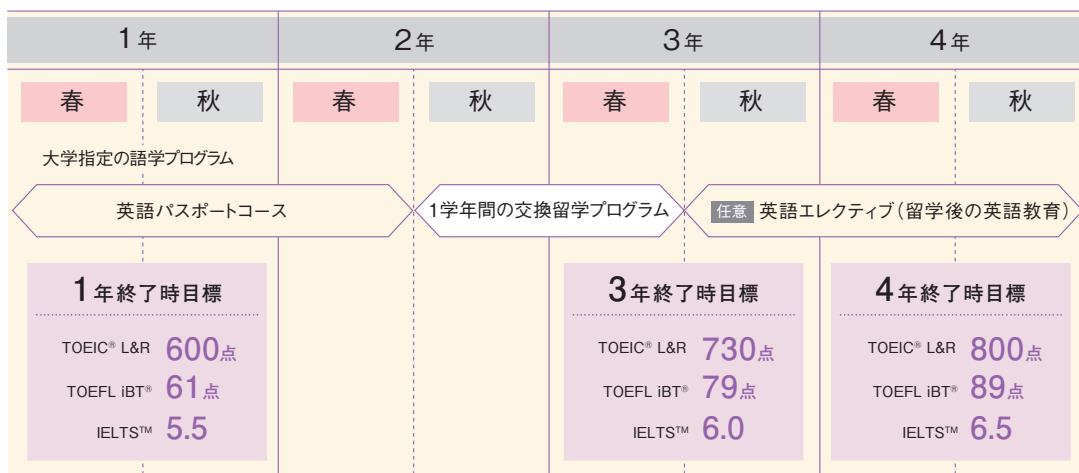
### [選抜方法]

#### 審査の過程における合否判定の方針

書類審査および面接を通して、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に審査します。グローバル社会で活躍したいという熱意、グローバル教育を受けるにふさわしい潜在力を支援する奨学金であることから、意欲や将来性まで多面的に審査します。なお、出身高等学校等の調査書については、全体のみならず個々の教科の評定平均値の他、特別活動の状況、特技や部活動、ボランティア活動等を学群別アドミッションポリシーと照らしあわせて、審査します。

## グローバル人材育成プログラムと奨学金を活かした4年間のモデル

各学群の基礎・専門教育だけでなく、グローバルな社会に必要な語学力と経験を積むことで教養豊かなグローバル人材を目指します。



外資系企業  
海外の大学院  
etc...  
グローバル  
人材

世界を舞台に活躍できる外資系企業への就職、または海外の大学院への進学という進路があります。

※グローバル人材育成奨学生として入学した場合は、リベラルアーツ学群、ビジネスマネジメント学群、芸術文化学群の「グローバル・アウトリーチプログラム」には参加することができません。



# 芸術文化学群の審査方法について

AO入学者選抜(第1回、第2回)、公募制推薦入学者選抜はインターネット出願時に「実技型」・「作品審査型」または、「小論文型」のいずれかを選択してください。

選抜方式	専修	審査方式	芸文のみの主な出願書類	審査内容
AO (第1回、第2回) 公募	演劇・ダンス	実技型	「活動報告書(芸文版)」*1	<b>演劇</b> [実技と面接] グループ構成で課題に沿った集団創作と発表。オーディション形式のグループ面接審査。動きやすい服装とシューズを持参すること。実技と面接、待ち時間をあわせ4時間ほどになる場合もあります。
		ダンス		<b>ダンス</b> [実技と面接] 短い振り付けによる技術力審査。オーディション形式のグループ面接審査。着替え持参、シューズ不要。実技と面接、待ち時間をあわせ4時間ほどになる場合もあります。
	小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)	
	音楽	実技型	「活動報告書(芸文版)」*1	声楽、ミュージカル(歌)、ピアノ、管楽器、打楽器、弦楽器(撥弦楽器を含む)、パイプオルガンのいずれかを選び任意の一曲を演奏する。さらに面接を課す。大学側で用意する楽器はピアノ、コントラバス、ハープ、マリンバ、パイプオルガン。ほかの楽器は持参すること。 伴奏者の同伴、または伴奏としてのCD 持ち込み可。 また、楽器演奏ではなく作曲等の分野で実技を希望する者は、自身が作曲した音楽作品(5分程度)をCDに録音したもの、およびその楽譜を持参することで演奏審査に代えることができる。 実技審査と面接合わせて15分。
		小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)
	ビジュアル・アーツ	作品審査型	「活動報告書(芸文版)」*1	試験当日、自分の制作した作品一点(美術、デザイン、工芸、服飾、写真、マンガ、映像、アニメ等)を持参する。作品審査では、制作意図、制作にあたり調べたこと、技法的工夫などについて3~5分のプレゼンテーションを行い、その後面接を行う。作品審査と面接合わせて15分。 なお、映像、アニメ作品等の収録時間は3分以内とし、再生用のPCは持ち込みとする。
小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)		
AO(地区)	演劇・ダンス 音楽 ビジュアル・アーツ	小論文型	「活動報告書(芸文版)」*1 「小論文」*2	事前提出した小論文をもとに面接審査(15分)
指定校				
留学生				
社会人				
編入*3	演劇、音楽 造形デザイン、映画			

※1 「活動報告書(芸文版)」は現在までの芸術に関する活動履歴を記載してください。

※2 「小論文」については、「芸術と社会」をテーマとして自分の考えを800字以内でまとめ、他の出願書類と一緒に提出してください。

※3 編入学者選抜は、※2の小論文に加え、試験日当日に「課題テーマ型の小論文」を課します。

[注意事項]

●志願者が一定の人数に達しない場合は、審査内容を一部変更する場合があります。変更する場合には事前に連絡します。

●面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。ただし、演劇・ダンス専修の「実技型」におけるグループ面接は受験者複数、面接担当者2人で実施します。

●一般入学者選抜・センター試験利用入学者選抜は筆記試験のみとなります。

●一般入学者選抜・センター試験利用入学者選抜は、第2志望の専修まで出願可能です。



# グローバル・コミュニケーション学群の 面接方法について

GC学群では、語学力を測るため、複数の言語による面接試験を行います。使用する言語は以下を確認してください。

面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。時間は20分です。

面接では、志望動機を中心に、出願書類の内容のほか、絵や写真を見て答える質問も行います。

「AO入学者選抜」「推薦入学者選抜」では、課題図書の内容についても、選んだ本が書かれている言語で質問をします。

○:面接で必ず使用する言語 △:面接で必要に応じて使用する言語

母語 ※1	入学後、学修を希望する主たる言語	面接で使用する言語			
		日本語	英語	中国語	備考
日本語	日本語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	英語	○	○	—	
	中国語	○	—	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
英語	日本語	○	○	—	
	英語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	中国語	—	○	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
中国語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
上記以外の言語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。

※1 「母語」とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

#### [注意事項]

●面接で使用する言語は、上記の表に基づきますが、日本語が母語でない場合は、入学後に学修を希望する主たる言語のほか、必要に応じて日・英・中のうち一つか二つの言語でも面接を行うことがあります。